

## 電子証明書の確認方法のご説明

### 1 はじめに

このたびは、社会保険労務士電子証明書発行のお申し込みをいただきありがとうございました。

全国社会保険労務士会連合会認証局（以下「連合会認証局」という。）より発行した電子証明書の確認方法に関して、ご説明致します。

同封の「社会保険労務士電子証明書発行申請承認通知書」に記載された電子証明書送付日から 30 日以内に全国社会保険労務士会連合会に必着となるよう「社会保険労務士電子証明書受領確認書」のご返送をお願い致します。「社会保険労務士電子証明書受領確認書」を期日までに返送していただけない場合は本電子証明書を失効させていただくこととなりますので、ご注意ください。

なお、お送りした USB メモリに格納されている情報は、実印に相当する大変重要な情報ですので、本人以外が利用できないよう厳重に保管し、取扱いには十分ご注意ください。

### 2 電子証明書のインポート

以下の手順に従い、電子証明書をパソコンにインポートします。

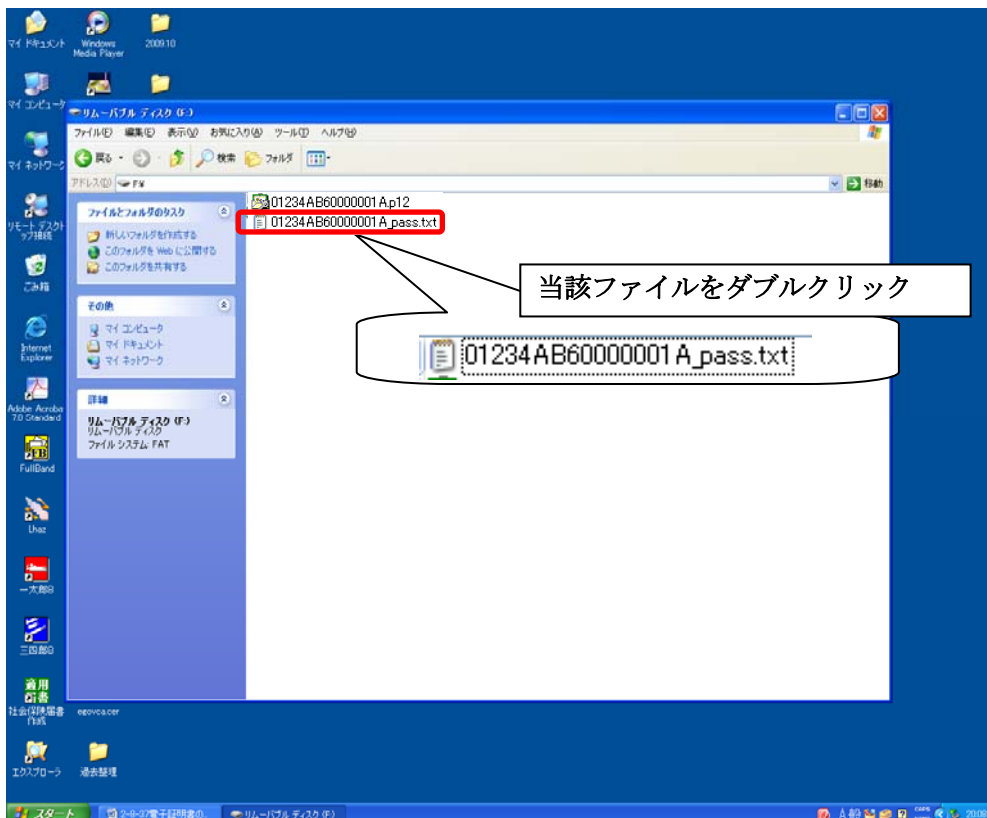
なお、本電子証明書の内容に不備がございました場合は、その旨を連合会認証局までご連絡頂きますよう、お願い致します。

電子証明書の格納された USB メモリを、電子証明書をインポートするパソコンの USB ポートに挿入します。

①デスクトップから「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク」で USB メモリを開きます。

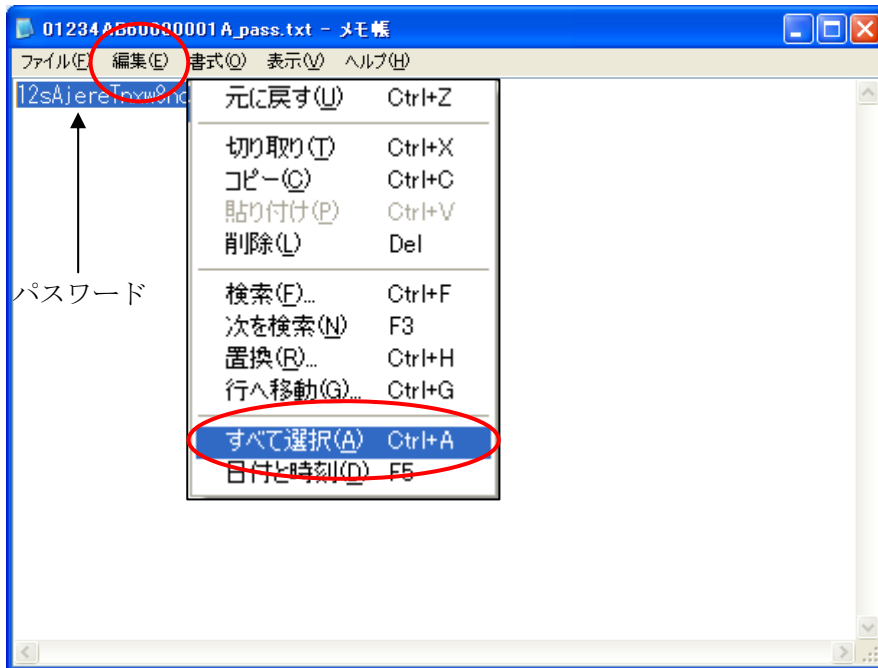
以下のウィンドウが表示されますので、ファイル名が「{英数字 16 桁} \_pass.txt」もしくは種類が「テキストドキュメント」となっているファイルをダブルクリックします。（鍵のマークのファイルではありません。）

※16 桁の英数字は利用者ごとに異なります。

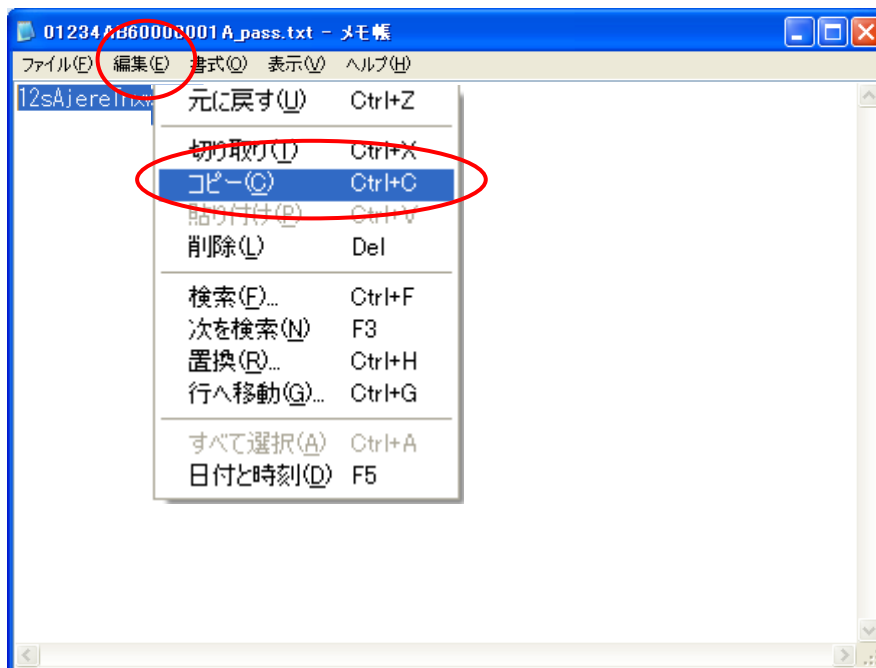


- ② 5 ページの⑧でパスワードの入力画面が表示されます。ここでは、その画面で必要なパスワードのコピーを行う手順を説明します。(②、③を行うことでパスワードのコピーが出来ます。)

「編集」をクリックし、「すべて選択」をクリックします。(青色に反転します)



- ③ 「編集」をクリックし、「コピー」をクリックします。



※この操作を行っても画面上特に変化はありませんが、コピーされた状態になっています。

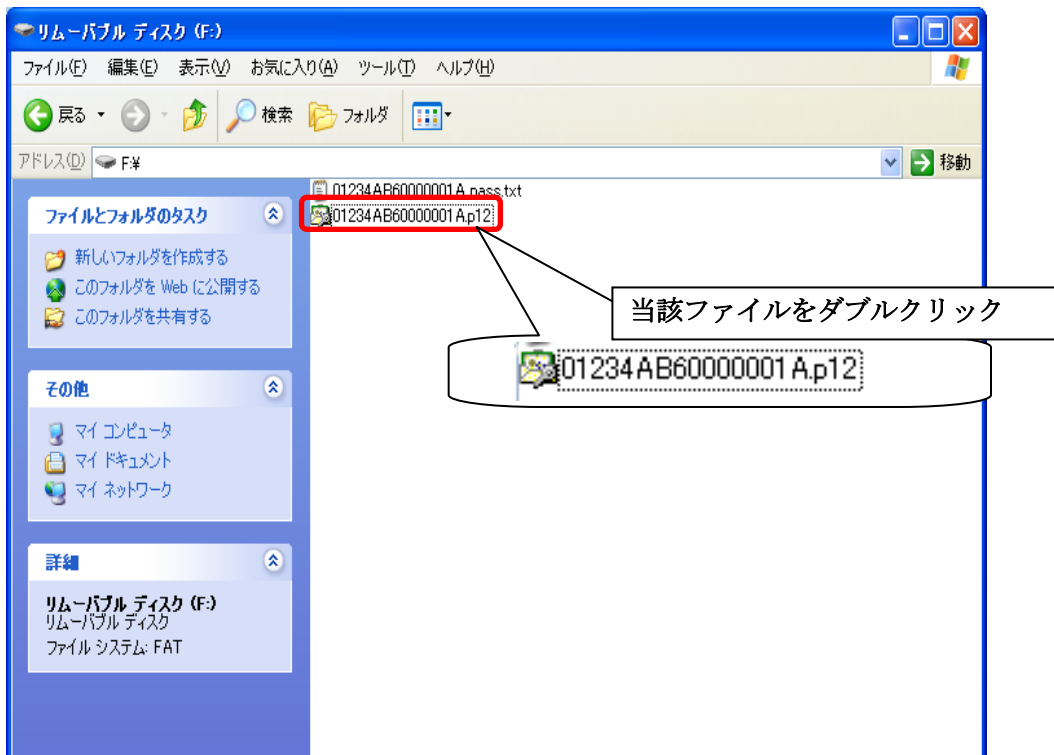
- ④コピーが終わったら、右上の「×」をクリックしてメモ帳を閉じてください。



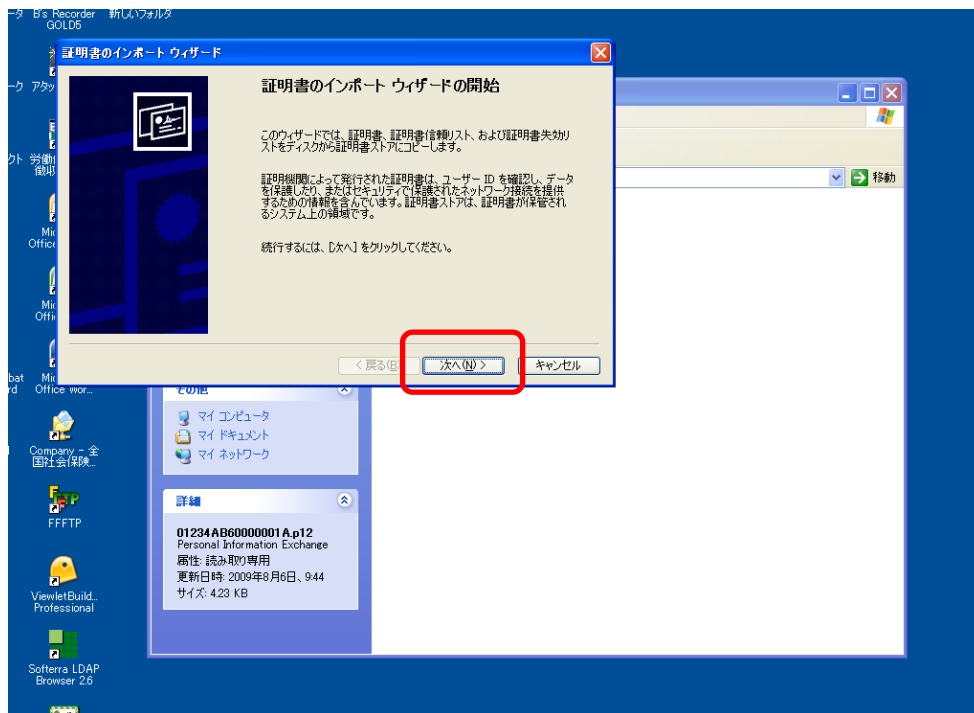
※「変更を保存しますか？」のようなメッセージが表示された場合、「いいえ」をクリックしてください。

- ⑤以下のウィンドウから、ファイル名が「{英数字 16 桁} .p12」もしくは「鍵のマーク」のファイルをダブルクリックします。（「{英数字 16 桁} \_pass.txt」もしくは「テキストドキュメント」ではありません。）

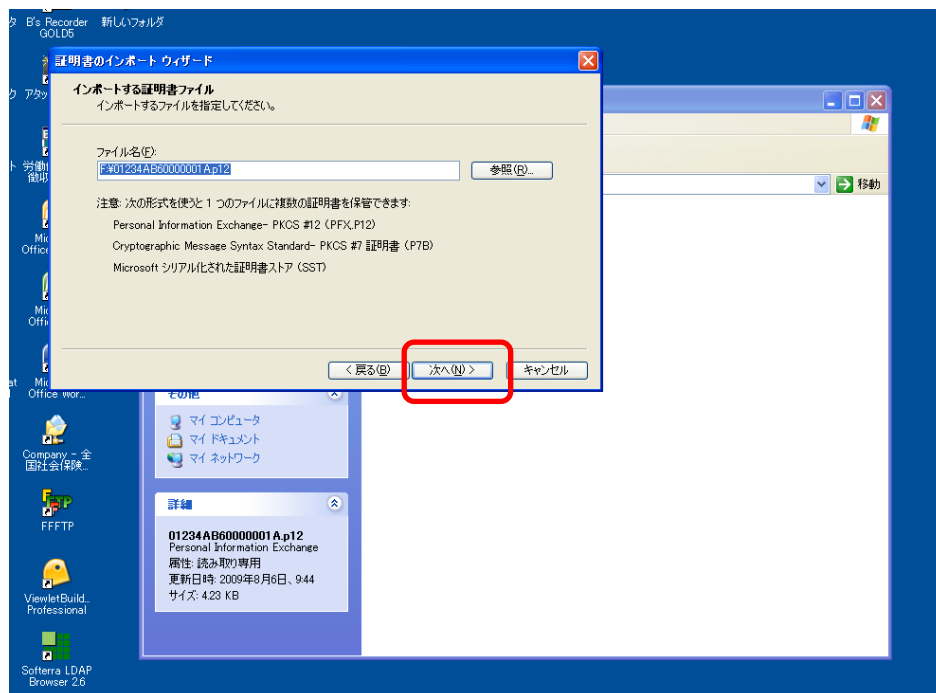
※16 桁の英数字は利用者ごとに異なります。



⑥以下のウィンドウ（証明書のインポートウィザード）が表示されますので、「次へ」ボタンをクリックします。



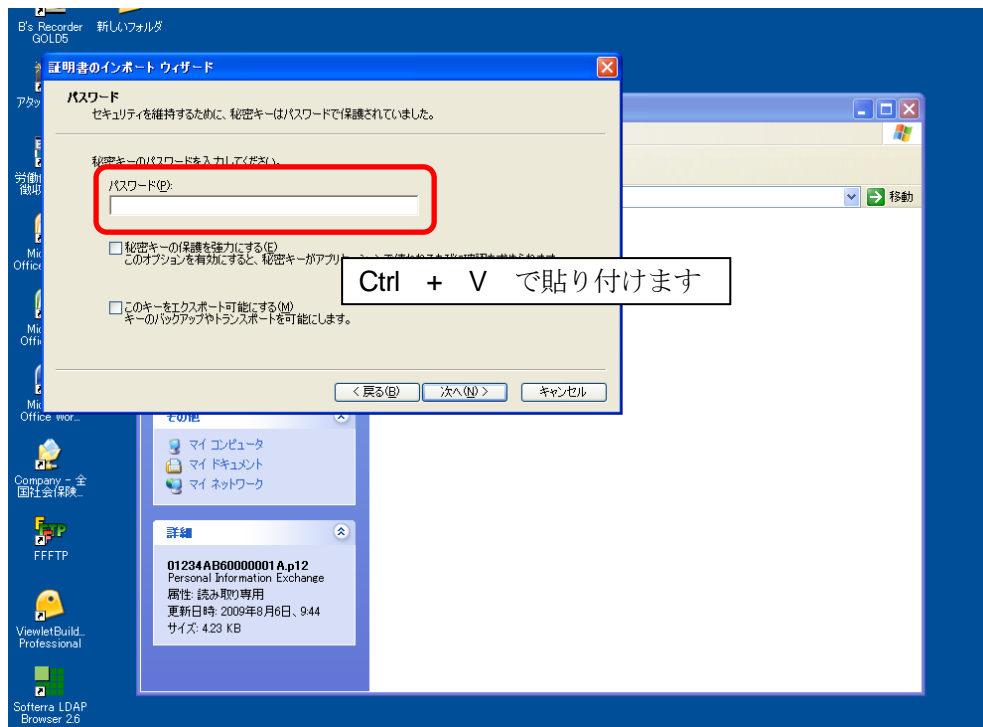
⑦以下のウィンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックします。



⑧以下のウィンドウが表示されますので、先程、2 ページの③でコピーしたパスワードを貼り付けます。

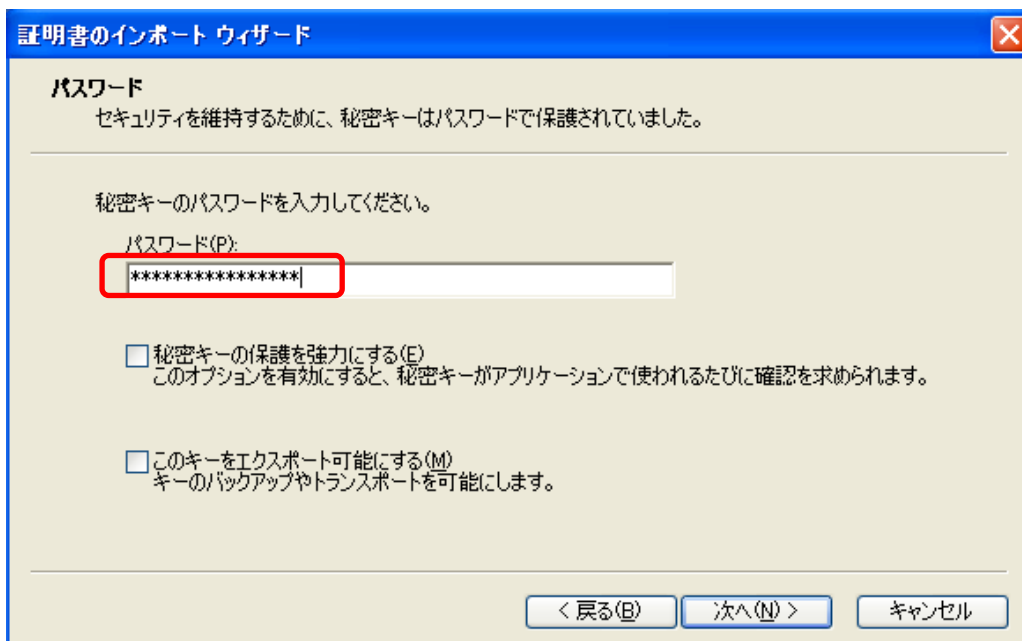
<貼り付け方法>

パスワードを入力する画面にカーソルを合わせて、キーボードの **Ctrl** (コントロールキー) を押しながら、**V** を押して貼り付けます。



※この時、「Ctrl + V」を2回以上押ししてしまうとパスワードが多く貼り付けられてしまいますのでご注意ください。

⑨パスワードを入力する欄に「\*」が16桁表示されます。



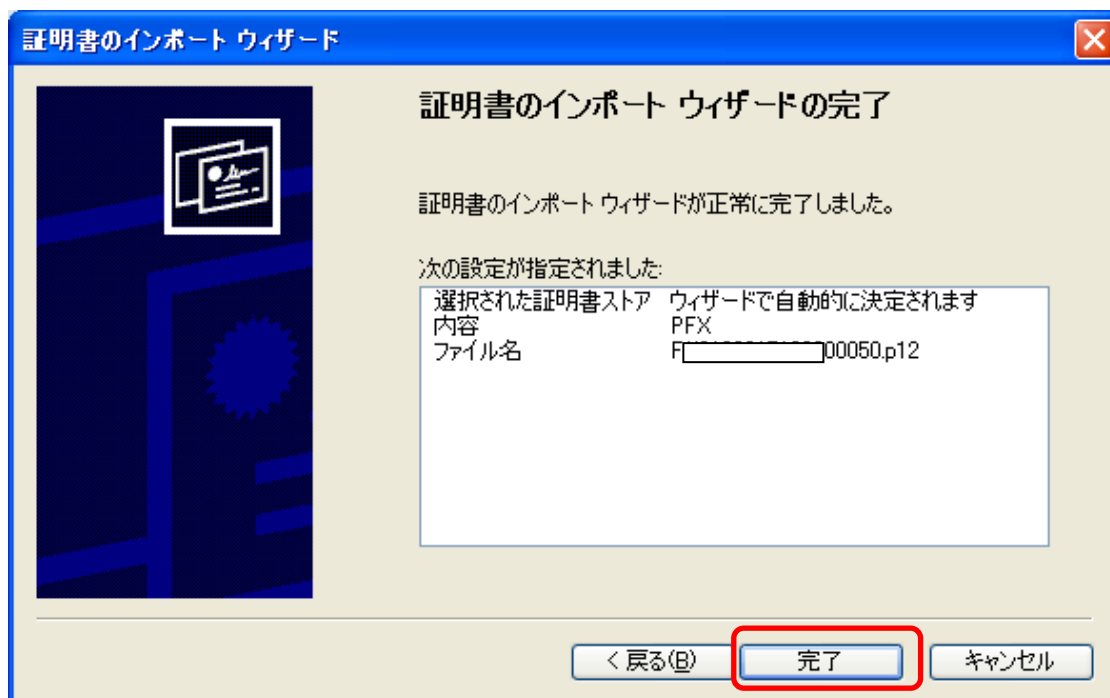
⑩ 「次へ」 ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Certificate Import Wizard' dialog box with the title bar '証明書のインポート ウィザード'. The main heading is 'パスワード' (Password). Below it, the text reads: 'セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されていました。' (To maintain security, the private key was protected with a password). The next instruction is '秘密キーのパスワードを入力してください。' (Enter the password for the private key). There is a text box labeled 'パスワード(P):' containing ten asterisks. Below the text box are two checkboxes: the first is '秘密キーの保護を強力にする(E)' (Strengthen private key protection) with the subtext 'このオプションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。' (If this option is enabled, you will be prompted to confirm the password each time the private key is used by an application.); the second is 'このキーをエクスポート可能にする(M)' (Allow this key to be exported) with the subtext 'キーのバックアップやトランスポートを可能にします。' (Allows backing up or transporting the key). At the bottom right, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The '次へ(N) >' button is highlighted with a red rectangle.

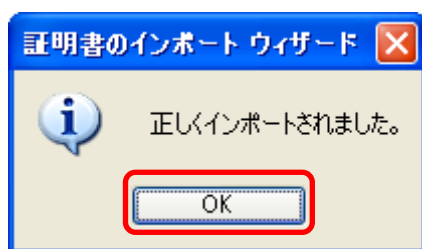
⑪以下のウィンドウが表示されますので、「次へ」 ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Certificate Import Wizard' dialog box with the title bar '証明書のインポート ウィザード'. The main heading is '証明書ストア' (Certificate Store). Below it, the text reads: '証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。' (The certificate store is a system area where certificates are stored). The next instruction is 'Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。' (You can either let Windows automatically select a certificate store or specify the location of the certificate). There are two radio buttons: the first is selected and labeled '証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)' (Automatically select a certificate store based on the certificate type); the second is labeled '証明書をすべて次のストアに配置する(P)' (Place all certificates in the following store). Below the radio buttons is a text box labeled '証明書ストア:' and a button labeled '参照(R)...' (Browse...). At the bottom right, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The '次へ(N) >' button is highlighted with a red rectangle.

⑫以下のウィンドウが表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。



⑬以上で、電子証明書のインポートは完了です。「OK」をクリックし、画面に残っているウィンドウを閉じます。



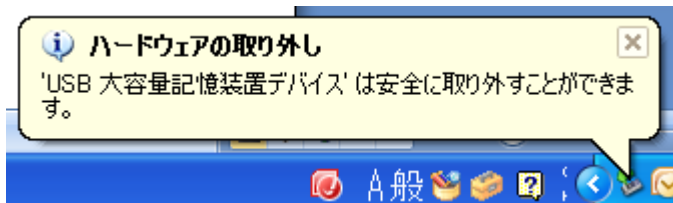
※警告メッセージ等が表示された場合、特に問題はありませんので「はい」もしくは「OK」ボタンをクリックしてください。

⑭USBメモリを取り外すため、画面右下の以下のアイコンを選択すると、下記のようなメッセージが表示されますので選択します。

※表示されるメッセージが下記と同一文言でない場合がありますが、似た表記であれば、それを選択してください。

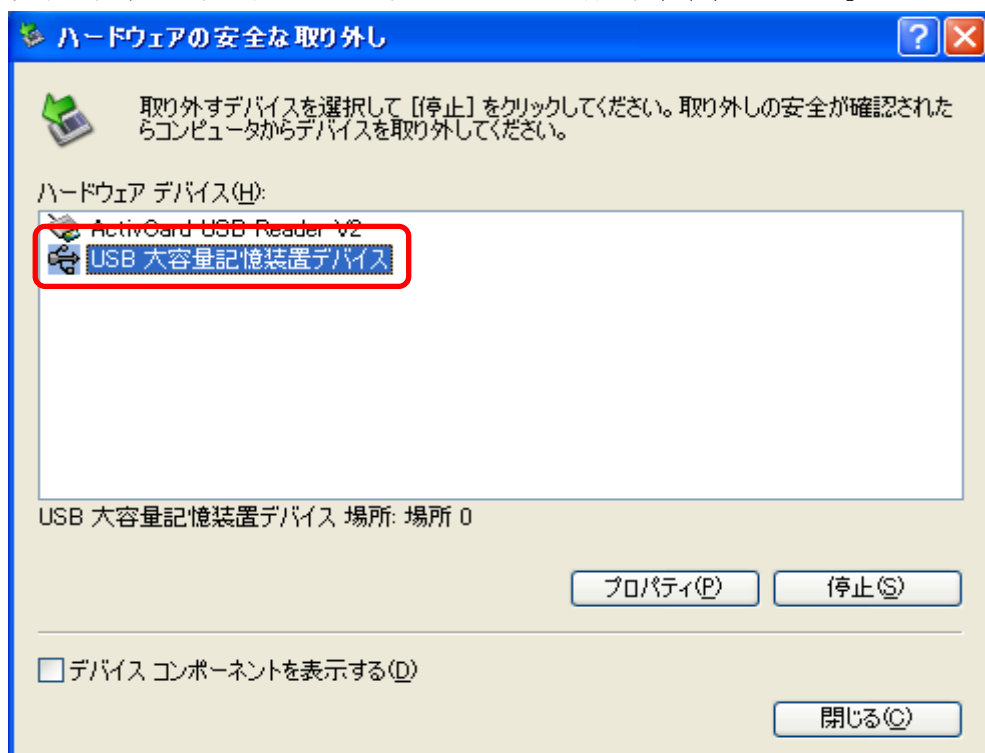


⑮下記のメッセージが表示されたら、USBメモリを取り外してください。



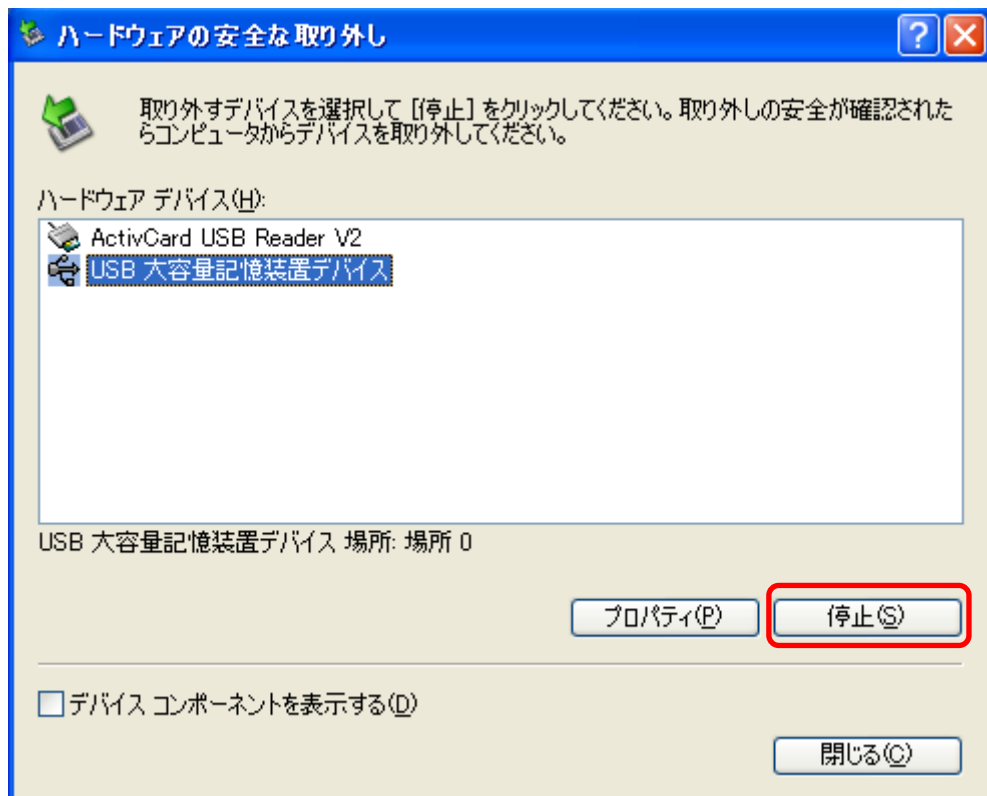
※USBドライブを1つしか使用していない場合は、10ページに進んで、内容の確認を行ってください。 USBドライブを複数使用している場合は、下記8、9ページの⑯～⑰の操作を行ってから、10ページに進んでください。

⑯以下のウィンドウが表示されますので「USB 大容量記憶装置デバイス」を選択します。



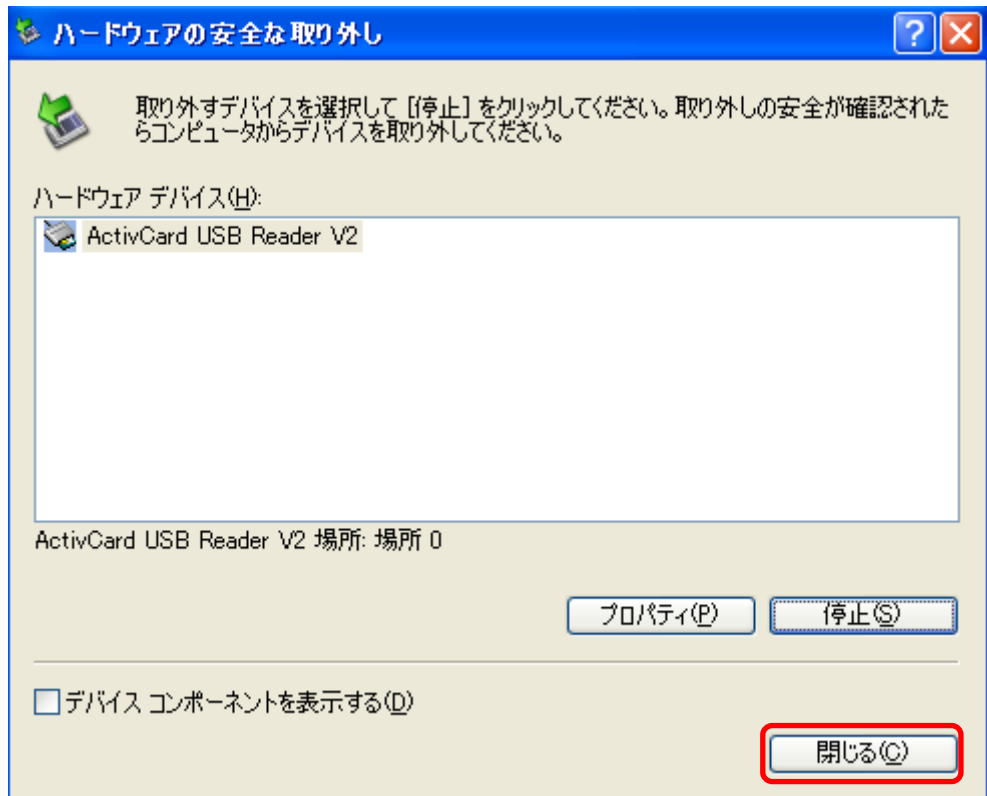
⑰ 「停止 (S)」 ボタンをクリックします。

その後「ハードウェアデバイスの停止」のウィンドウが表示されたら、「OK」をクリックします。



⑱ 「閉じる (C)」 ボタンをクリックします。

USB メモリをパソコンから取り外してください。



### 3 電子証明書の内容確認

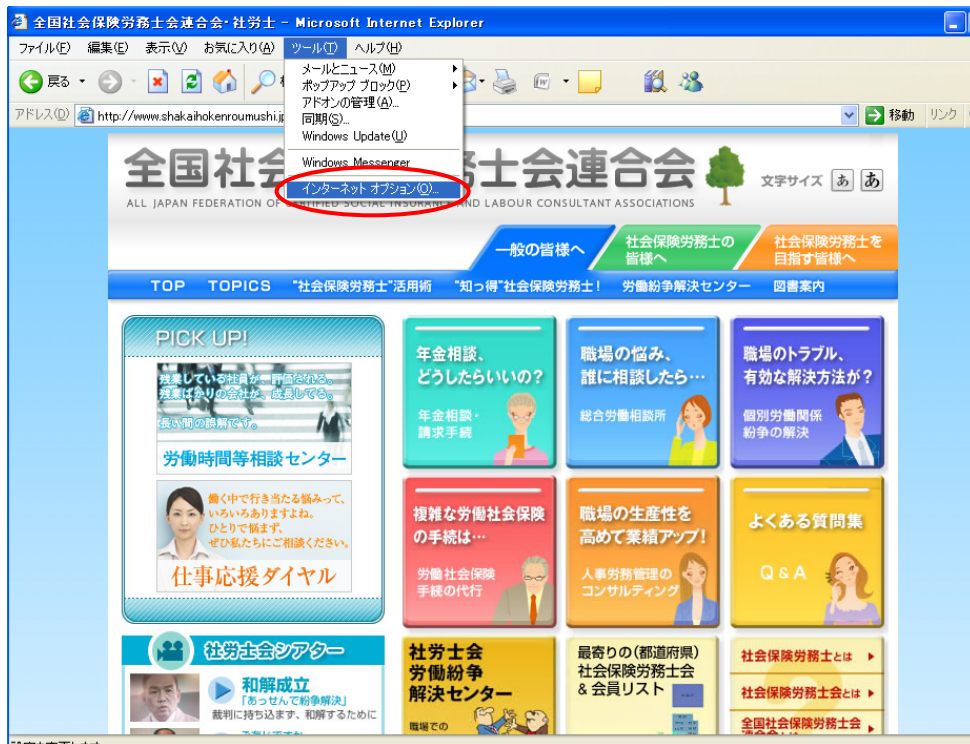
以下の手順に従い、インポートした電子証明書の内容を確認します。

※内容確認は、インターネットに接続していないパソコンでも作業を行うことができます。

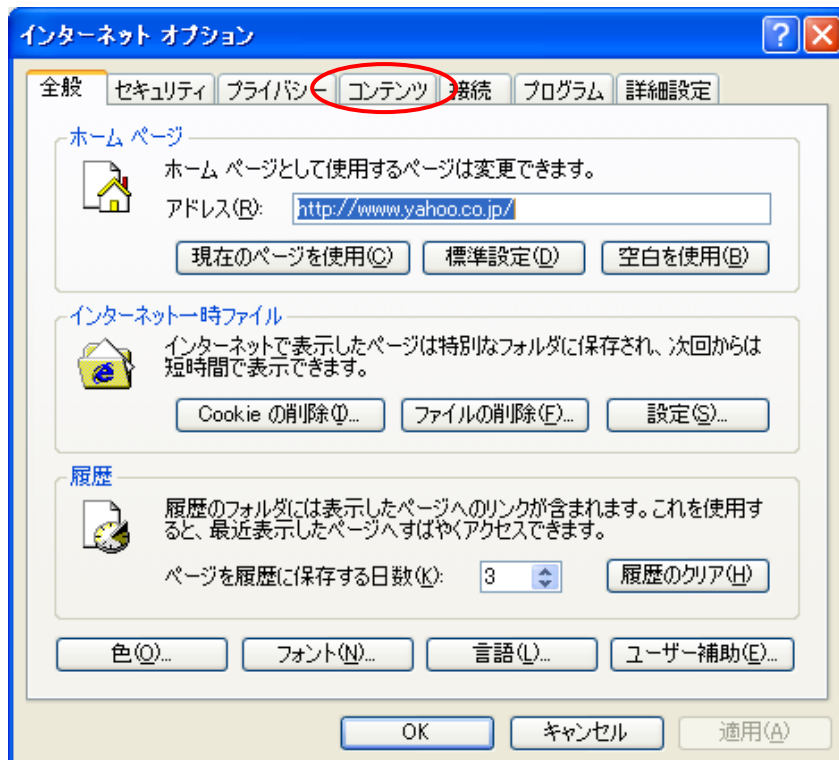
- ①デスクトップからインターネットエクスプローラのアイコンをダブルクリックして起動します。



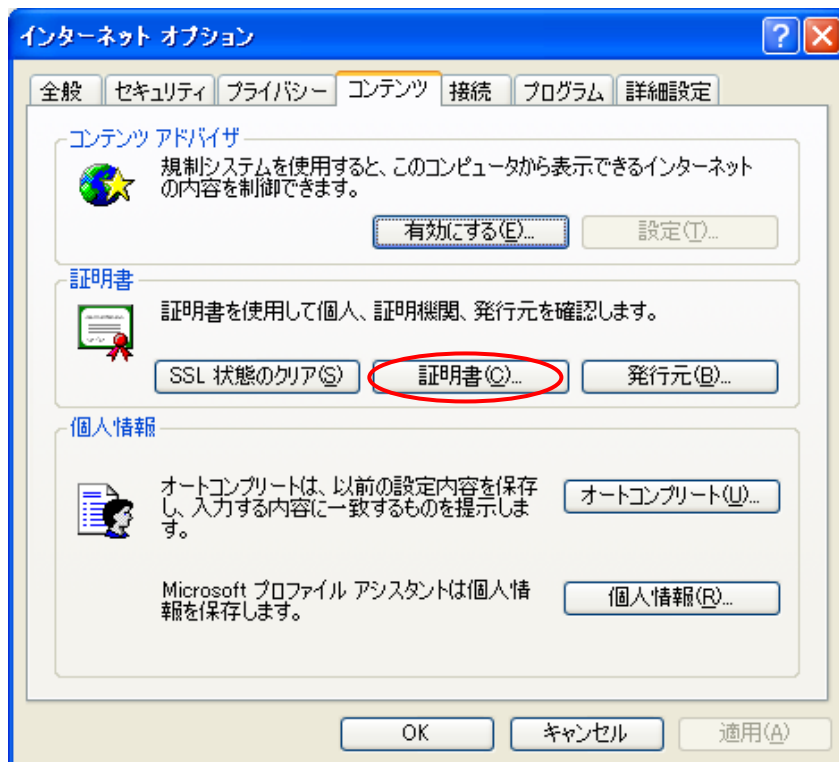
- ②メニューバーから「ツール」をクリックして、「インターネットオプション」を選択します。



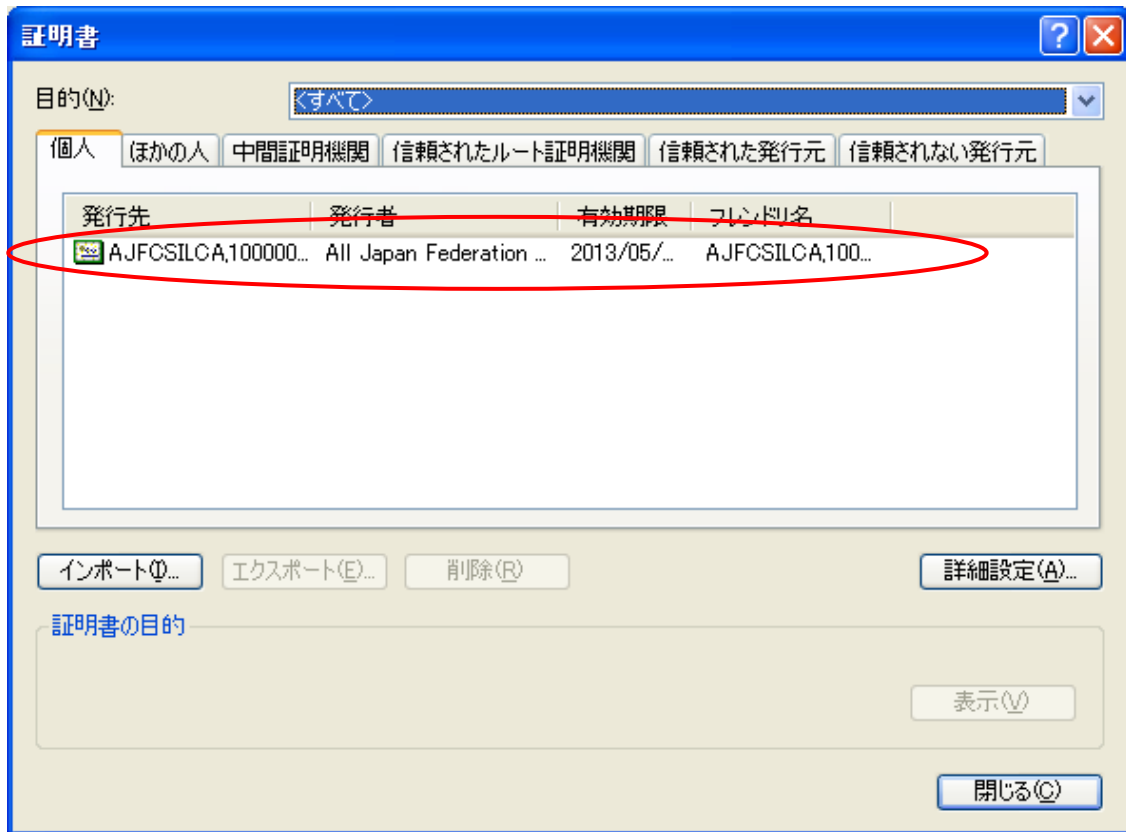
③以下のウィンドウが表示されたら、「コンテンツ」タブを選択します。



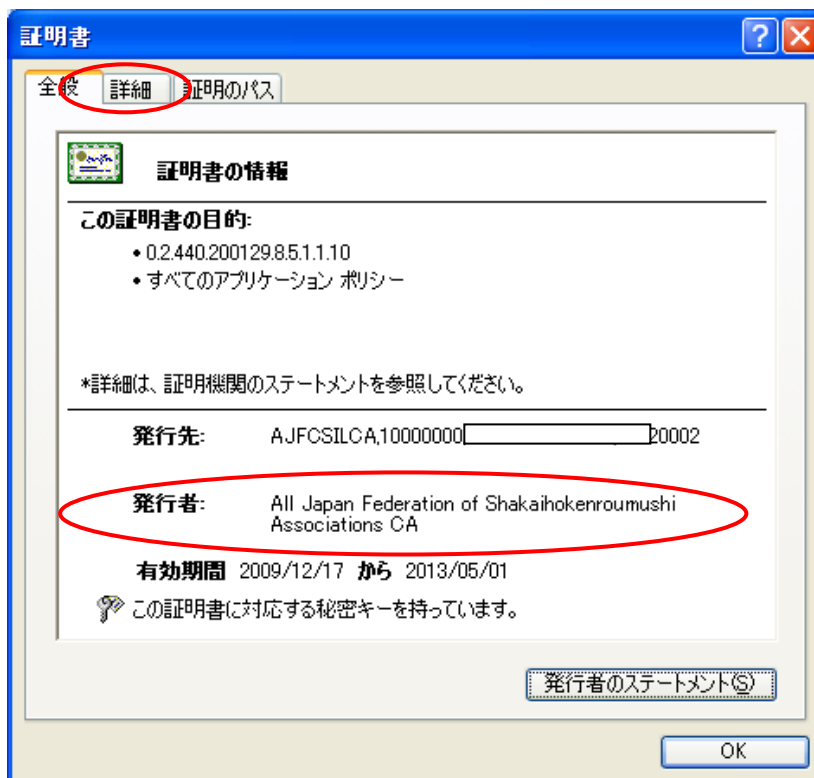
④以下のウィンドウが表示されますので、「証明書」ボタンをクリックします。



⑤以下のウィンドウが表示されますので、インポートした証明書を選択し、ダブルクリックします。

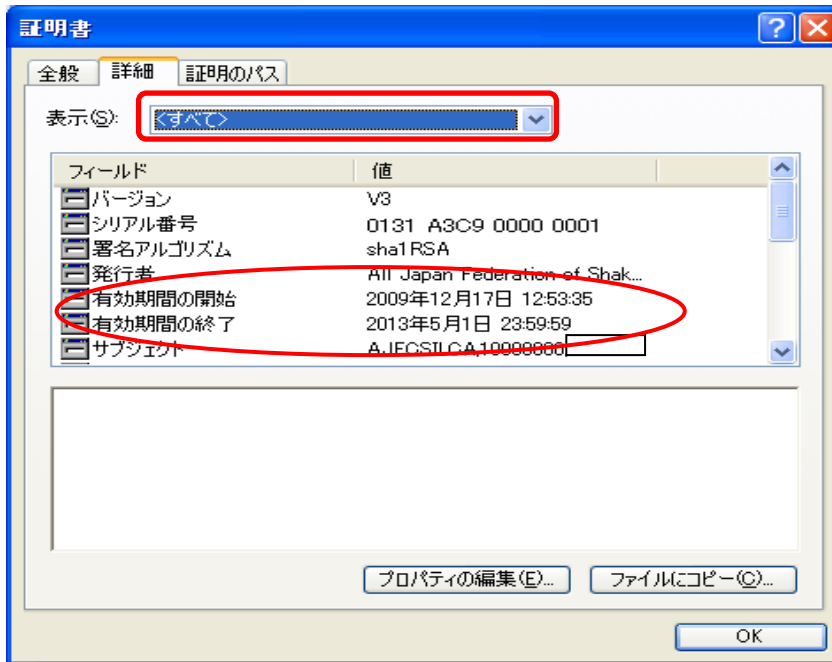


⑥以下のウィンドウが表示されますので、発行者が「All Japan Federation of Shakaihookenroumushi Associations CA」であることを確認し、「詳細設定」（「詳細」）タブを選択します。



⑦以下のウィンドウが表示されますので、「有効期限の終了」の値が、「有効期限の開始」の値の3年後の誕生月の1日の23:59:59であることを確認します。

※画面上段の「表示」には「<すべて>」が選択されていることを確認してください。



⑧以下のウィンドウが表示されますので、「サブジェクト」を選択し、値が以下のとおりであることを確認します。

CN 「AJFCSILCA」, 「会員種別※<sup>2</sup>」, 「氏名 (ローマ字) ※<sup>1</sup>」, 「社会保険労務士登録番号」

OU 「所属する社会保険労務士会の都道府県名 (ローマ字)」

※<sup>1</sup> 旧姓・通称名を利用する場合は、「氏名 (旧姓・通称名)」の形であることを確認します。

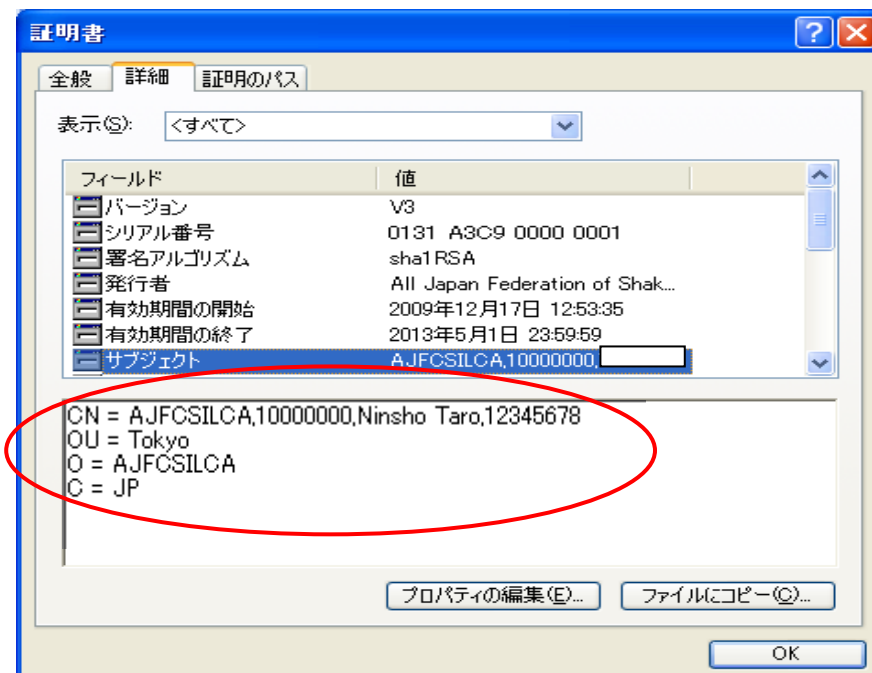
例: CN=AJFCSILCA,10000000,Ninsho Taro (Shinsei),12345678

※<sup>2</sup> 10000000: 開業

20000000: 社員

30000000: 勤務 (社会保険労務士法人・開業社会保険労務士の使用人)

00000000: 勤務



⑨以下のウィンドウが表示されますので、「サブジェクトの別名」を選択し、値が以下のとおりであることを確認します。

CN 「会員種別<sup>※2</sup>」、「氏名<sup>※1</sup>」、「社会保険労務士登録番号」、

OU 「事務所名・法人名」

OU 「所属する社会保険労務士会の都道府県名」

※1 旧姓・通称名を利用する場合は、「氏名（旧姓・通称名）」の形であることを確認します。

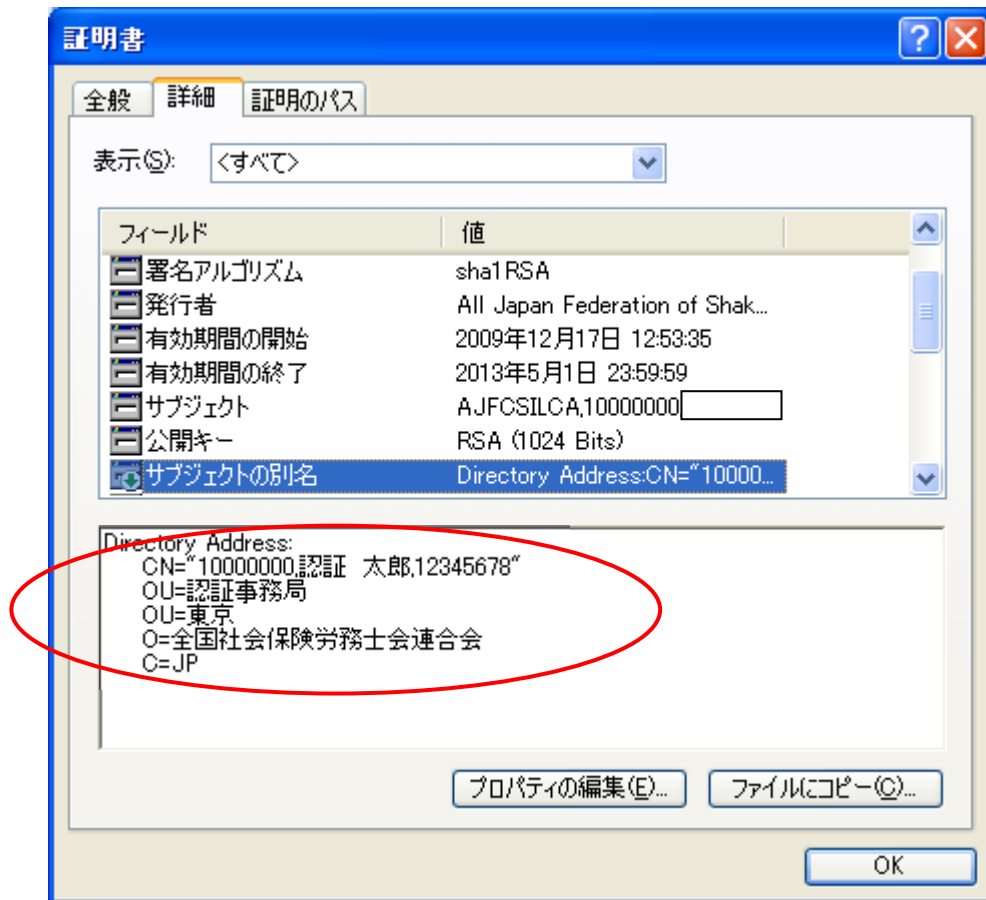
例：CN=10000000,認証 太郎 (申請),12345678

※2 10000000：開業

20000000：社員

30000000：勤務（社会保険労務士法人・開業社会保険労務士の使用人）

00000000：勤務



⑩以上で、電子証明書の内容確認は完了です。画面に残っているウィンドウを閉じます。